

報道提供資料

〔琴浦町では初開催！〕 「ことうら環境フォーラム2026」開催のお知らせ

2026年8月7日

倉吉記者クラブ 御中

平素より大変お世話になっております。

琴浦町では、2050年ゼロカーボン達成に向けた取組の一環として、下記のとおり「ことうら環境フォーラム2026」を開催いたします。ご多用のところ恐れ入りますが、報道方よりしくお願い申し上げます。

取材のポイント

① ごみが「資源」に変わる！こどもたちが楽しみながら学ぶ環境体験イベント

牛乳パックなどの身近な資源を使った紙すき体験を通じて、こどもたちが「ごみ」ではなく「資源」としての価値を学ぶ環境学習を実施。体験を通じて、資源循環やリサイクルの大切さを楽しく伝えます。

② 専門家・企業・地域団体・中学生が語る、琴浦町のゼロカーボンの未来

環境の専門家、地元企業、市民活動団体、次世代を担う中学生が一堂に会し、それぞれの立場から環境への取組や課題、未来への提案を発信。多様な視点から、地域全体で進める脱炭素の姿を考えます。

③ 「自分にもできる環境行動」を見つける、町民参加型のゼロカーボン推進イベント

プラスチック分別や省エネなど、日常生活の中で取り組める身近なエコアクションを紹介。参加者一人ひとりが、2050年ゼロカーボンに向けて今日からできる行動を考えるきっかけとなるイベントです。

1. イベント概要

イベント名	ことうら環境フォーラム2026
日時	2026年8月22日（土）13:00～16:00
会場	琴浦町赤碕地域コミュニティセンター（分庁舎）2F 多目的ホール 住所：鳥取県東伯郡琴浦町大字赤碕 1140-1
主催	琴浦町
参加費	無料

本イベントは鳥取県「夏得（なっとく）キャンペーン」・「エコ・アクション・ポイント」の対象イベントです。

夏得キャンペーン＝対象イベント参加でシールを集め応募する県の夏季キャンペーン（～10/31）／エコ・アクション・ポイント＝環境イベント参加等でポイントが貯まる県民限定の制度
／詳細：<https://www.town.kotoura.tottori.jp/docs/2026072800032/>

2. プログラム ※前半・後半、どちらかの参加のみでも OK

時間	プログラム	内容	対象・備考
13:00 ～14:30	【前半】こども向け環境学習 「ごみが紙に変わる！紙すき体験」	牛乳パック等の古紙を使った紙すき体験を通じて資源循環を学び、オリジナルはがきを制作（講師：株式会社ごみの学校 東野陽介氏）	園児(要保護者同伴)～中学生と保護者／定員30名／要予約
14:30 ～16:00	【後半】ことうら環境フォーラム 「多様な視点で考える琴浦町のゼロカーボン」	専門家・地元企業・市民団体・中学生によるパネルディスカッション。終了後、町長がコメント。	一般町民（どなたでも）／予約不要

3. 登壇者一覧

立場	登壇者	紹介予定の内容
ファシリテーター	株式会社ごみの学校 東野陽介氏	「ごみを通してワクワクする社会をつくる」を掲げ、登壇者それぞれの視点を引き出しながら対話を進行。環境省地域資源循環事業アドバイザーとしての知見も交えます。
専門家	ゼロカーボンとっとり 事務局長 井上圭子氏	琴浦町の環境施策を紹介・評価するとともに、電気の節約やエコな移動、食品ロス削減といった「デコ活」など、すぐ実践できる身近なエコアクションを紹介します。
地元企業	大山乳業農業協同組合 組合長 徳丸洋一氏	学校給食牛乳における植物由来PE使用や国産飼料の自給拡大、化学肥料の使用削減や下水汚泥由来バイオ炭の活用など、酪農と環境課題への取組を紹介します。
市民活動・地域	有志団体「つながる」 代表 池田則子氏	SDGs イベント「つながる」の活動内容を紹介するとともに、町民目線でのプラスチック分別や日々のエコアクションの実践例を伝えます。
こども・次世代	琴浦町内中学生2名	「自分たちが大人になる頃の琴浦町」がどうなっていてほしいか、率直な疑問や期待、こうなってほしいという提案を、次世代の視点から発信します。

【取材申込み・お問い合わせ】 琴浦町役場 町民生活課 ゼロカーボン推進室（担当：辻中） TEL：0858-52-1703

MAIL: tyoumin@town.kotoura.tottori.jp